

## こんにちは！知事です（平成22年9月8日実施）の概要について

平成22年9月8日（水）、五所川原市立市浦小学校において、「こんにちは！知事です」を実施しました。

「こんにちは！知事です」は、知事が小・中学生の皆さんと交流し、将来への期待等について意見交換するものです。

平成22年度は、五所川原市立市浦小学校が3校目の訪問校となり、当日は5学年と6学年の40名が、知事と意見交換を行いました。

### 児童による学校紹介

市浦小学校は、10年前、相内小学校、十三小学校、脇元小学校、太田小学校の4校が統合して市浦小学校となりました。

今年で統合10周年ということで運動会ではセレモニーを行い、全校一人ひとりの夢を託したハトの風船を飛ばしました。



市浦小学校では、全校のみんなですべてで体育集会、全校朝会、児童集会、音楽集会などを行っています。中でも特徴的なのが、イングリッシュタイムです。イングリッシュタイムは、英語で歌やゲームをして楽しむ集会です。

もう一つ特徴的なのは、給食です。4年生から6年生まで、毎日ランチルームで給食を食べ

ています。学校で給食を作っているのだからおいしいと評判です。

全校児童は111人です。

最後に、今日参加している5年生、6年生の40人で校歌を歌って学校紹介を終わります。

(校歌斉唱)

## 知事に質問、意見交換

### 児童1

普段、学校から家に帰ってからや、学校が休みの日に外で遊びたいと思うのですが、楽しい遊具があったり、十分な広さがあったりする公園が近くにありません。安心して楽しく遊ぶことができる公園を作ってもらうことはできないのでしょうか。

### 知事

私は、百石という所で生まれました。今は合併して、おいらせ町になりましたが、小学校、中学校とこの町で育ちました。百石という所は、八戸などの大きな街とは違って、沼があり、周りが山に囲まれ、海があつて、西と東の違いはありますが、すごく市浦と似た所だと思っていた。



私たちの子どもの頃は、どこでも遊びました。道路でも遊びました。昔は、冬、道路に水をまいて凍らせて道路でスケートをするぐらい車も少なかったのです。公園という形のものではなくても、砂浜とか、身の回りに自然がたくさんあつて、工夫して遊ぶというか、自分たちで工夫して、松の木などの曲がった木があれば、木登りしたりして、身の回りにある自然を活用して遊ぶことができました。

確かに今は、公園に遊具があつて、そこで遊んでいると安全ですが、市浦はすごく緑が豊かで、十三湖のそばで遊んだりすると楽しいと思うので、作られた公園がなくても楽しく遊べるのかな、と思っています。

確かに今は、公園に遊具があつて、そこで遊んでいると安全ですが、市浦はすごく緑が豊かで、十三湖のそばで遊んだりすると楽しいと思うので、作られた公園がなくても楽しく遊べるのかな、と思っています。

五所川原市には、「シーランド」や「中之島ブリッジパーク」、「モー林公園」など、結構楽しめる場所があるのかなとも思っています。

地域県民局長にもお話ししてもらいましょう。

## 西北地域県民局長

公園にはさまざまな種類があり、地元の皆さんが使う小さい公園から、市民が使う少し大きい公園、それから、青森県民がみんなで使う大きい公園があります。大きい公園というと、青森県内に県が管理している公園は2つだけしかないのですが、青森県総合運動公園という、79ヘクタールの広さの公園があります。かなり広い面積です。その中に三内丸山遺跡とか、それから、昔からの運動公園がそのまま整備されています。約40年前に整備した公園です。その他に、新青森県総合運動公園というのが青森市の東部にありますが、そちらの方が86ヘクタールだと思いますが、この公園を今、作っています。というのは、三内丸山遺跡が出たところを遺跡として整備するために、その場所を総合運動公園として使えないため、新しい方に運動公園を作りましたが、その中には、体育館だとかプールだとか、さまざまな施設を整備しています。まだ半分ぐらいしか整備が進んでいないのですが、すごくお金がかかります。

皆さんの学校の周りは、舗装されたり、グラウンドがあったり、非常に使いやすいですが、学校から帰ってからの日曜日の話をされていましたが、全ての所にいっぱい公園を作るというのは、なかなか大変な時代です。この地区ですと、五所川原市役所でいろいろ考えるということになるかと思うのですが、とりあえずは、そういう場所や施設が欲しいということを皆さんが議論するのも一つだし、それから、今あるちょっとした広場とか、山とか、学校の周りのさまざまな施設を使いながら、どうすれば楽しめるのかなど、その辺を考えていくことが非常に重要かと思えます。

## 知事

今、県民局長の話にあったように、これだけ自然が豊かな素晴らしい場所なのだから、そこで工夫して自分たちで遊んだらおもしろいなと思います。

あなたの将来の夢は何ですか。



## 児童1

お笑い芸人です。

## 知事

では、2人で何か漫才をやってみましょうか。(……。)できないかな。では、今日のところはこれから練習するということにして。ご苦労さまでした。

## 児童2

市浦小学校にはプールがありません。プール学習の時は金木という所まで片道30分くらいかけて行きます。プールに入っている時間よりもバスに乗っている時間のほうが長いくらいです。夏休みもプールに入りたいと思うことがあるのですが、学校にプールがないので入ることができません。また、本を借りて読みたいと思っても図書館がありません。自分たちで気楽に行けるように、手近にプールや図書館はできないのでしょうか。

## 知事

本を読むことはとても大事です。国語の授業でも、本を読んでいると思うのですが、声に出して読んでいると、その言葉そのものが記憶されるということがあると思います。大人になって仕事に就いた時に、会議などで大事な話をしたりだとか、そうした時に学校の教科書で読んだ言葉とか、本で読んだ言葉が、ポツと頭に浮かんでくるとすごくうれしいものです。国語の本を読むことで算数とかいろいろな科目でも、これから学ぶ英語にも役に立ってくると思います。だから、すごく本を読むことは大切だと思います。

そうしたことから、図書館は、とても大事な施設だと思います。実は、知事になる前は、旧百石町という所の町長をやっていました。人口1万人の町ですが、図書室はあっても図書館がありませんでした。町長をしていたのはもう20年も前ですが、自分の町に図書館がなかったので造りました。蔵書は子どもたちの本を6割にし、絶対子どもたちに来てほしいと思い、小さい町だったので、町の真ん中に造りました。すると、本を読みに来る子どもたちがたくさん来てくれるようになりました。すごくうれしかったです。

こちらに県立図書館の移動バスは来ていますか。

校長

来ています。

知事

県では、県立図書館の本をどんどん皆さんの所に届け、新しい本とか、読んで欲しい本を貸出する仕組みがあります。五所川原市には市立図書館があります。

本が好きだと言ってくれてすごくうれしいです。

図書館やプールの話について、今日は教育事務所長が出席していますので、少しお話ししてもらいましょう。

西北教育事務所長

今年は暑かったですよね、皆さん。今日は若干涼しいけれども、先週まで大変暑くて、多分、今年が一番、プールがないことが辛かったと思います。プールは、ちょっと堅い話をする、市町村で造っていただくということになりますので、そちらの方で頑張っているということになるのですが、ただ、造るとなるとたくさんのお金が必要になりますので、すぐにできるかどうかというのは、ちょっと難しいと思います。ですので、今ある施設に行って泳いだり、ちょっと時間がかかりますけれども、他の学校のプールに行ってくださいしかないのかなと思います。

それから、図書館についてですが、読書をするということは本当にいいことで、学校の先生方からも読書をするようにということでお話をされていると思います。こちらの学校でも、本の数は多分、他の学校と比べても見劣りしないぐらいにたくさんあると思います。ですので、その図書室を利用して本を読んでいただくということもありますし、ただ、学校の図書室にない本もあると思います。そういう時には、先ほど知事からお話がありました、県立図書館が青森にあります。たくさん本が置いてあります。ただ、その県立図書館に皆さんが行くとなると、距離も遠いし大変ですので、そういう人たちのために県立図書館の本を配達するという制度があります。皆さん、学校でインターネットを使っていますよね。そのインターネットを使って県立図書館のホームページに入っていれば、どういう本があるかというのが全部わかります。そこで自分の読みたい本を探して、借りたいと申し込みをすると、近くの図書館にその本が届けられることになっています。この学校の近くだと、市立図書館の市浦分館というのがあります。そこに本が届いて、そ

こちらから皆さんが借りて、そこに返してもらうという制度もありますので、もし学校に読みたい本がなかったら、そういう制度も利用していただいて、これからもどんどん読書してもらいたいと思います。

知事

プールの件については、五所川原市の方にも伝えてもらえますか。

西北教育事務所長

はい、伝えておきます。

知事

そういう訳で、お話は伝えさせていただきます。

あなたの将来の夢は何ですか。

児童2

やさしい保育士になりたいです。



知事

今もすごくやさしい感じだから、そのまま大きくなったらすごくやさしい保育

士さんになると思います。資格を取らないといけないから、勉強しましょうね。よろしくお願いします。ありがとうございました。

児童3

12月にいよいよ青森に新幹線が来ます。そうになると、ほかの都道府県からたくさんの観光客が来るとは思いますが、青森県のどんなところを見てほしいと思いますか。

## 知事

いよいよ12月4日に東北新幹線が全線開通します。昨日、列車のダイヤが決まりました。初めのうち、来年の3月までは3時間20分で東京と新青森がつながります。それからどんどん速くなって、来年の春になると3時間10分、その後、3時間5分、約3時間で青森と東京が行ったり来たりできるようになります。八戸まで開業した時も、お客さんが5割増えたということもあり、今回もたくさんお客さんが来てほしいということで、全国でいろいろなキャンペーンをしています。JRでやっているテレビCMを知っていますか。今とても人気のある俳優の三浦春馬さんが青森の女の子と一緒に出演するCMなのですが、東京でもそのCMを放送します。首都圏の皆さんに、青森に行ってみたくてもらう、JRではそういう作戦を立てています。あとはポスターを貼ったりしています。

県では、10月末になると、青森ねぶたと五所川原の立佞武多、知っていますよね。八戸の三社大祭と弘前のねぶた、この4つの祭りの山車を持っていき、東京で「青森県に来てください」というキャンペーンをします。原宿や明治神宮などで行う予定です。



また、青森県のB級グルメもたくさん持っていきます。B級グルメって知っていますか。八戸のせんべい汁、黒石のつゆ焼きそば、青森の生姜味噌おでん、十和田のバラ焼き、むつの海軍コロケなどです。食べたことがありますか。こういったB級グルメを明治神宮などに持っていき、皆さんに食べてもらい、「青

森にはおもしろい食べ物があるよ」ということを紹介することになっています。青森県では、最近、今までみんなで普通に食べていたものを特産品にしようという動きがあり、頑張っています。

それから、津軽三味線は聞いたことがありますよね。津軽三味線を演奏する人を50組、東京へ連れて行って、都内のあちこちでゲリラライブをやって、青森を宣伝することにしています。

このようにいろいろな宣伝をするので、たくさんの方が青森県に来てくれると思います。

逆に質問ですが、あなたは青森県のどういう所を見てほしいですか。自分の町だったら、どこがいいですか。

### 児童3

きれいな所です。

### 知事

そうですか。十三湖はきれいですよね。長い橋が架かっている、すごくいいですよね。

実は、新幹線が来ると、多くの人が津軽半島に行ってみたいと言っています。だから、市浦や十三湖の方とか小泊、龍飛にかけて、たくさんのお客さんが来ると言っています。津軽半島はとても人気があります。西海岸の新鮮な海産物や市浦牛など美味しいものがたくさんあります。最近、メロンも美味しいですよね。そういうものを食べてほしいし、青森の美味しいものとか見てほしい所がたくさんあって、特にこの地域だったら十三湖を見てほしいと思っています。

それから、脇元の海岸の雰囲気もいいですね。高村薫さんという小説家がいる、私が知事になる前、出版社に勤めていた時に担当したのですが、青森県の本を書いたときに、脇元の辺とか、木造の筒木坂とか、高村さんは



関西の人なのだけどすごく気に入って、すごく興味を持ってくれました。今まで八戸から津軽半島までは遠いなとみんな思っていたのが、新青森からだとすぐですからね。たくさんの方が来てくれると思います。

今日、市浦小学校の5年生、6年生にお願いしたいことがあります。みんなでおもてなしの心を持ってほしいということです。青森に来てくれたお客さんに、「ああ、来て良かったな、市浦に来て良かったな」と思ってくれるように、みんなでお客さんにニコッと笑



って、「こんにちは」とあいさつしてほしいと思います。学校でもあいさつ運動をしていると思いますか、旅行に来た人は、多分、「こんにちは」と言ってくれると思うから、「こんにちは」と返事をしてくれたらすごくうれしいなと思います。

皆さんは、太宰ミュージアムというのを知っていますか。太宰治とか、青森県は、特にこの津軽半島は、世界に有名な文学者が生まれた場所です。そうしたところも津軽鉄道に乗って訪ねてほしいなと思っています。津軽半島、市浦などのこの辺は、後世に残したい景色です。多くの人に食べてほしい安全・安心な美味しい食べ物があって、絶対に訪れたら青森ファンになってくれると思います。みなさんの協力を得たいと思います。みんなであいさつ運動、ちゃんとやってくれますか。

では、あいさつの練習をしてみましょう。こんにちは。

児童

こんにちは。

知事

いいですね。必ず、市浦にもお客さんがたくさん来てくれると思います。

あなたの将来の夢は何ですか。

児童3

ラーメン屋です。

知事

そうですね。では、お父さんやお母さんに頼んで、本当に美味しいものを時々食べて歩くと味を覚えます。「自分であの味を作ってみよう」ということができると思います。頑張ってください。期待しています。

児童4、児童5、児童6、児童7

地球温暖化の問題については、世界中の国々で取り組んでいかなければならないことだと思います。日本では最近、エコという言葉を使っていろいろ取り組んでいます。青森県ではどんな取組をしたり、工夫をしていますか。

知事

今年は暑い日が続いていますが、地球温暖化は大きな問題ですね。温暖化によって海流に異常が生じて、その影響からクラゲなどがたくさん発生し、今、大変問題になっているのですが、海水の流れがおかしくなると、雨が降る時期や風の向きなども全部変わって、そのために生態系、生き物が生きていくために必要な条件が変化し、地球全体が異常な状態になるということが言われています。

みんな地球温暖化を避けるためにも、いろいろな無駄をしないことが必要です。「もったいない」と思う気持ちがすごく大事で、今、エコという言葉が頻繁に使われています。

皆さん、五所川原市のごみの分別は何種類かわかりますか。多分5つか6つに分けていると思います。エコとか環境問題というときに、一番基本のスタートは、きちんとしてごみを分別して出すということです。皆さん、分別作業を手伝っていますか。お父さんが飲むビールの缶と、君たちが飲むジュースの缶、きちんとアルミとスチールに分けて出してくれていますか。そういうふうに分けて出すことによって、とてもエコになるし、無駄なエネルギーを使わなくて済むということになります。

また、紙のリサイクルもすごく大事で、緑資源、木を切らなくて済むと木がCO<sub>2</sub>を吸収してくれ、すごく環境によいのです。その基本がごみの分別なので、みんなも協力してほしいと思いますし、大人になったら、リサイクル運動とあって、今日はアルミ缶の日ですとか、今日は瓶の日ですとか、そういうことに協力してくれたら、それだけですごくエコ運動になります。

大きなスーパー、ジャスコやユニバース、イトーヨーカドーなどに行ったことありますよね。そこでは今、ビニール袋が有料化されていますよね。皆さん、自分で持って行きますよね。例えば、そういうことも、すごく身の回りの小さなことだけれども、そういうところからも青森県のエコの運動は始まっています。

それから、風車を見たことありますか。大きな電気を起こす風車です。津軽半島にはあまりありませんが、太平洋側に行くとたくさんあります。日本で今、一番風車の数が多いのが青森県です。風の力で電気を起こして、それにより石油とか石炭を使わないで済む、そういうことも青森県が日本で一番進んでいます。すごいと思うことは、蓄電池風力とあって、風力で起こした電気を電池に貯めて、(途中で電力会社を通すのですが、)東京の千代田区まで青森県の電気が送られています。東京駅の北口の近くに丸ビルというビルがあ

りますが、その電気は全て青森県から送られています。青森県では、そういった形で、エコ活動に協力しています。

それから、今どんどん進めているのが、まだ地味かもしれませんが、電気自動車を取り入れたり、ハイブリッドカーってわかりますよね、今日、私も乗ってきたのだけれど、ガソリンと電池で走るのですが、自動車の仕組みを変えようということを青森県が全国の実験場所となって進めています。そして、皆さんのお家にもあるかもしれませんが、ソーラーパネルを屋根に付けて、太陽光で発電する住宅を造る仕組みにも取り組んでいます。

そういった中で、おもしろい仕組みが、太陽光と風力とバイオマスというのですが、ごみを発酵させるとガスが出ますよね。メタンガスというのですが、すごくよく燃えるのです。そのメタンガスを使って新しいエネルギーを作る仕組み、太陽光と風力、そしてバイオマスを利用する仕組みにも青森県は取り組んでいます。他に、地面って温かいですよね。地下の方に行くと、一定の温度で温かいのですが、その熱を取り出して、冬、駐車場に積もった雪を溶かすといった取組も始まっています。

県では「青森県環境エネルギー産業振興戦略」というのですが、新しいエネルギーの仕組みや、新しい技術を開発する実験をして、それを実際の仕事にすることも進めています。

それでは、4人の将来の夢は何ですか。

#### 児童4

木を運ぶ運転手です。

#### 児童5

パティシエールです。

#### 児童6

宇宙飛行士です。

#### 児童7

消防士です。

知事

そうですか。まず、木を運ぶ仕事ですか、おもしろいですね。まずは普通の運転免許を取って、次に特殊車両の免許を取るのですよね。すごく楽しい仕事だと思いますよ。どうして木を運ぶ仕事をしてみたいのですか。

児童4

お父さんが木を運ぶ仕事をしているのを見て、木をつかむのがおもしろそうだったからです。

知事

いいですね。お父さん、喜ぶますね。絶対おもしろいと思います。バランスが大事ですよ。お父さんと一緒に車に乗せてもらって、どういう仕事か見て、手伝えたら、すごくお父さんは喜んでくれると思います。体も鍛えてください。勉強もちゃんとしてくださいね。

次はパティシエールということでしたが、どんなお菓子が好きですか。

児童5

ショートケーキが好きです。

知事

ショートケーキですか。いいですね。皆さん知っていますか。実は、ディズニーランドの夏場のショートケーキのイチゴは、青森県産のものが使われています。夏秋イチゴというのですが、黒石や下北では夏場にとれるイチゴを作っていて、ディズニーランドに出荷しています。皆さん、修学旅行などでディズニーランドに行く機会があると思いますが、覚えておいてくださいね。将来、青森県の夏秋イチゴでショートケーキを作ってくれたらうれしいです。

次は、宇宙飛行士ですね。まずは、英語をしっかり勉強する必要がありますね。体を鍛える必要もあります。宇宙はどうしてできているとか、重力加速度とか、いろいろおもしろいことを勉強できると思うので、期待しています。

次は、消防士でしたね。高い所に上る訓練が必要だと思います。それから、消防士にな

るためには勇気が必要ですよね。あとは、いろいろな知識、理科系の知識が必要だから勉強も頑張ってください。

#### 児童8、児童9

私は休み時間に1年生と遊ぶのが楽しみで、将来は保育士になる夢があります。学校で友達と遊んだり、勉強できたりするのがうれしいです。時々テレビでいじめや友達を傷つけるニュースを見ると、かわいそうだなと思います。青森県では私たちが学校で友達と楽しく安心して過ごせるように、どんな取組をしていますか。

#### 知事

県では、6年前から「いのちを大切にすることを育む県民運動」という活動を行っています。現在、約1,200の団体が参加してくれています。キャッチフレーズは、「ひとつのいのち、みんなのだいじないのち」です。平成16年に長崎県佐世保市で、小学6年生の子が同級生を傷つけて、相手の子が死んでしまった事件が起きました。すごくショックを受けました。私にも子どもが3人います。自分の子どものことを考えた時に、まだ小さかったのですごくショックでした。ゲームなどでは、負けたらまたリセットできますが、皆さん一人ひとり、お父さんやお母さんにすごく大事にされて生まれてきて、成長する間も、おじいさんやおばあさんも含めて、周りの人の愛情を受けて育ったのです。すごく命って大事ですよね。生きている上で難しいこともあるけれど、小学校のうちは勉強しないといけないとか、今日はおかずにピーマンが入っているから食べたくないとか、子どもなりにいろいろありますよね。嫌なことあったりすると思うけれど、生きていることはすごいことです。大体、生まれたこともすごいけれど、生きていくということもすごいことで、その命は、実は自分だけのものじゃないですよね。生んでくれたお父さんやお母さんも含めて、生きていくというのは一人ではなくて、みんなで支え合って生きていくべきだと思っています。もちろん、自分の命も大事だけれども、みんなが、友達のことをすごく大事にして、一緒に生きてほしいな、いつでも元気でいてほしいな、笑顔でいてほしいなと思うことは大事なことです。みんなでそれぞれの命を大事に思うだけではなくて、自分の命を大事に思ってくれているたくさんの人、お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、友達や先生がいると思うと、命ってすごく重たいですよね。大事なものですよね。

「ひとつのいのち、みんなのだいじないのち」、このキャッチフレーズを考えてくれた人

は身体に障害のある子どもでした。「どうしてこういう言葉を考えたのですか」と聞いたところ、「自分は自分として生きているけれど、自分の命を守るために周りの人がすごく頑張ってくれた。お医者さんもお父さんもお母さんも、みんなが自分の命のことをこんなに大事にしてくれた。だから、自分の命はみんなの命なんだ。だから、自分も一生懸命生きたいと思ってるんだ」ということを話してくれ、すごく感激しました。

この言葉をキャッチフレーズに、学校でもいじめをしないようにしようとか、お互いのことを大切にしていこうという運動をずっとやってきました。多分、この学校でもいろいろ仲間としてやってくれたこともあるのかなと思っています。絵本を作って各学校に配ったりしながら、みんなでいじめをなくして、命を大事にするために頑張ろうということをやっています。学校に来ることが楽しい小学生であってほしいし、みんなでいつでも学校に来たい、そういう学校であってほしいと思っています。

教育委員会ではどういう活動をしているのか、話をしてもらいましょう。

#### 西北教育事務所長

まず、今の意見を聞いて大変うれしく思ったのは、いじめや友達を傷つけるニュースを見ると、かわいそうだなと思っているという意見が出たことです。子どもたちみんながそういう気持ちで学校に来てもらえると、世の中からい



じめがなくなるのかなというふうに思っています。ただ、現実としてというか、残念ながら、全国、県内でもいじめがあります。

まず、いじめについてですけれども、学校の先生方がまず一番そういうことがないように、もし残念ながら起きたときにはどういうふうにしたらいいかということを生懸命取り組んでもらっていると思います。しかしながら、学校だけではどうにもできないということもありますので、県では学校とか、家庭、地域、ここでいうと市浦の地域の方々と協力して、様々な取組をしています。具体的に言うと、先ほど知事からお話がありましたけれども、「いじめ根絶キャンペーン」という運動をして、いじめはだめだよということをや

ピールしています。テレビで見たことありますか。「ストップ!いじめ」ということでCMに流れていますけれども、そういうことをやったり、あと、ポスターも作っています。おそらく、この学校にも貼ってあると思いますので、「ストップ!いじめ」ということで、機会があれば学校の中で見てもらいたいと思います。

それからもう一つ、残念なことはいじめが起きた時のためということですが、県では「24時間いじめ相談電話」ということで、お父さん、お母さん、先生方にちょっと相談しづらいなという時にはそこに電話をして相談してもらおうという取組をしています。

その他にも様々な取組をしているのですが、青森県でいじめがなくなって、子どもたちがみんな笑顔で登校できるようになればいいなと思っています。

## 知事

今、笑顔という話が出ましたが、青森県で行っているおもしろい事業があります。「青い森のほほえみプロデュース事業」というものです。「笑う角には福来る」という言葉、聞いたことありますか。結構あちこちで言いますよね。みんなでワッと賑やかに、家庭や職場でもいつでもニコニコ笑顔でいるとやっぱり福が来るということですが、「青い森のほほえみプロデュース事業」は、みんなで一日一回は笑いましょう、それから、何かムツと嫌な気分になった時でも、まず、笑いましょうという運動をしています。実は、2万6千人の方が「ほほえみプロデューサー」としてこの事業に参加してもらっています。怒らないで、まずニコッと笑ってからとか、あるいは、子どもたちにガミガミと小言を言う前に、「あなた、今日は賑やかに帰ってきたね。本当に元気でいいね。」と言う。「玄関で靴をきちんと揃えなさい。」と言おうと思った時でも、「元気に帰ってきたね。ただいまと言ったら靴を揃えるといいよね。」と言う。物の言い方に気をつけて、相手にも喜んでもらう言い方で注意しようなど、そういった事業を行っています。

今では、2万6千人の方が、県内あちこちで仲間を作ってくれて、みんなで笑顔を大切にしている運動をしていて、小学生のうちには必要ないかもしれないけれども、中学生、高校生になったらこの運動に入ってくれたらみんなも楽しくなると思います。

キャッチフレーズ、みんなで一緒に声を合わせて言ってくれますか。いいですか。「ひとつのいのち、みんなのだいじないのち」。

児童

「ひとつのいのち、みんなのだいじないのち」。

知事

自分の命も相手の命もすごく大事だという気持ちでいたら、いじめはなくなると思います。それから、辛い時でも思い出してください。みんなの大事な命なのだと。あと、「笑う角には福来る」です。

それでは、あなたの将来の夢は何ですか。

児童 8

やさしくて頼りになる保育士です。

児童 9

取材が来る有名なケーキ屋さんです。



知事

そうですね。保育士さん、いいですね。それで1年生が好きなのですね。さっきも話したけれども、保育士さんになるためにはきちんと勉強しないといけないですね。それと、一番大事なことは子どもが好きで好きでたまらないということがすごく大事だと思います。

それから、取材のいっぱい来るケーキ屋さん。どういうケーキを作りたいですか。

児童 9

チョコケーキとかです。

知事

いいですね。どんどん取材が来るように県の総合販売戦略課が宣伝しますので、修業してください。



## 児童10、児童11

僕たちは今年、運動会で風船に将来の夢を書いて、それが叶うようにと願いを込めて飛ばしました。ぼくたち6年生一人ひとりにも大切な夢があります。

将来なりたい職業に就くために、今から頑張ればいいことは何ですか。また、青森県では、私たちがなりたい職業に就くためにはどんなことをやっていますか。

## 知事

すごく大事なお話だと思います。小さい時というか、小学生の時の夢、中学生になると少し変わるかもしれないけれども、将来、料理の世界に行きたい、ケーキの世界に行きたいと、夢を持って毎日を送っていたら、その夢に向かっての勉強もしてみようという気持ちになるとと思います。

まず、基本的なことをお話します。何よりも健康でなければいけません。だから、よくスポーツや運動をして、健康でいてください。そして、次は、さっきもお話しましたが、本を読むということがすごく大事だと思っています。テレビばかり観るのではなくて活字の本を読む。何のためにか。料理人になって創作、自分のオリジナルの料理を作るにしても、あるいは、ケーキを作る立場になったとしても、知識がたくさんあってこそ、技術が生きてくると思います。いろいろな知識を身につける、いろいろなことを知っていることが大事です。学校での勉強が一番大事ですが、それだけではなく、たくさん本を読むことも大事です。そのことを感じさせてくれるのは、どんな本でもいろいろな本を読んでいると、感動することがたくさんあります。何の仕事に就くにしても、今、小学生の皆さんにしてほしいことは、可能な限りたくさん本を読んでくれたらいいなということです。そこからいろいろなことが始まるのかなと思っています。

皆さん、それぞれいろいろな夢があると思います。県で進めていることの一つに、「はたらく心DVD」といって青森県の100の仕事、パティシエールもあったと思いますが、トリマーもある、大工さんもある、舗装のプロとか左官のプロとか、青森で今ある100の仕事の100のプロ、その仕事に就いて一家を養っているという、要するに、お父さん、お母さんとして生業を作っている100の仕事と100の仕事人を特集したDVDを作りました。学校にもあるはずですが。それを観てくれると、「こんな仕事があるんだ」、「この仕事の場合はこういう心構えが大事なんだ」と感じることを思います。今なりたい仕事もあ

と思うけれども、どんな仕事が生の中であって、私たちの生活を成り立たせているのか、守ってくれているのかということを知ってくれたらいいと思います。そのために「はたらく心DVD」というものを見てくれたらいいと思います。

また、教育委員会の話になりますが、キャリア教育とって、将来どういふ仕事に就いたらいいかなと考えるためにも、地域でお父さん、お母さんたち、仕事をしている人たちに授業をしてもらったりだとか、あるいは、自分の町を探検して歩いて、「ここではこういふ仕事があるんだ」、「おせんべい屋さんってこういふふうにするんだ」とか、いろいろな所を見て歩くことも進めています。

あとは、例えば、仕事の内容や夢、やり甲斐などについて話をしてくれる人たちを、「ユメココ」とって、みんなのお父さん、お母さん、おじいさんたちになると思うけれども、そうした人たちに学校に来てもらって、仕事の話をしてくれるということを県でも進めています。

いろいろな仕事に就きたいという夢があると思いますが、もう一回繰り返すことになるけれども、体を元気にすることと、学校の勉強をしっかりしていればいいと思います。また、可能な限り本を読んで、その中でいろいろな先々のことをその中で考えてくれたらいいかなと思っています。

それでは、将来の夢は何ですか。

#### 児童10

日本で有名な料理人です。

#### 児童11

世界的に有名なパティシエールです。

#### 知事

そうですね。料理やケーキを作るには健康な歯を持っていないといけませんね。毎日、朝、昼、夜、しっかり歯磨きをしてください。頑張ってください。

市浦小学校の5年生、6年生の皆さん、今日は本当にありがとう。自分が子どもだった時よりもますます伸び伸びというのかな、すごくみんなが伸び伸び健やかに育っていて、

これは校長先生も当然そうだし、先生みんなもそうだし、PTAの皆さんもそうだと思うけれども、みんなが子どもたちをすごく大好きで、子どもたちがこの市浦小学校で一生懸命勉強して元気に育ってほしいと見守ってくれている、応援してくれている、そのように感じました。みんながこんなに元気な市浦、そして五所川原、青森県、絶対によい未来をみんなのために準備しておいて、そして、その後またみんなに頑張ってもらいたいということも感じました。今日は積極的に質疑応答ができて、楽しかったです。

今日もおいしい給食を食べて、元気で楽しく、市浦小学校はすごく良かったなという小学校時代を送ってくれたらうれしいと思います。今日は本当にありがとうございました。

— 了 —